

令和7年度

第55回全国中学校剣道大会（宮崎全中）プレ大会

監督連絡事項資料

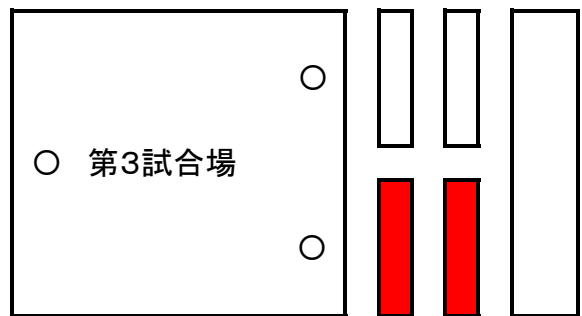
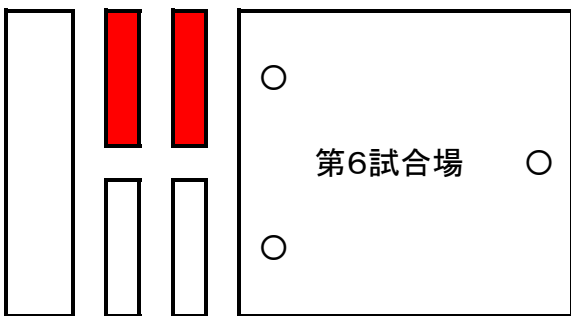
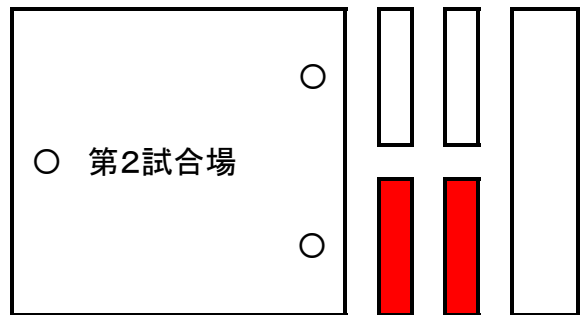
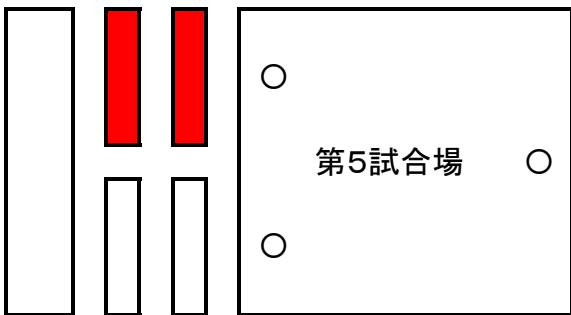
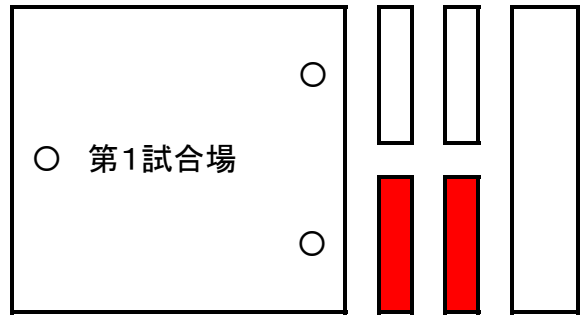
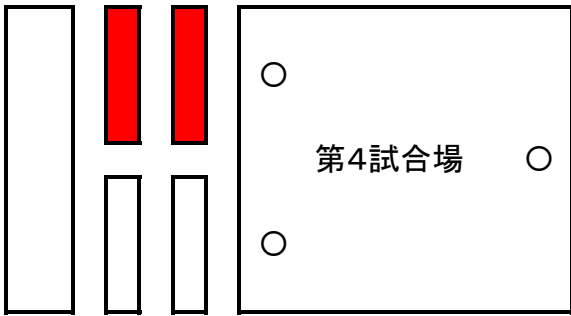


- 1 競技日程
 - 2 会場図
 - 3 試合運営に関わる連絡事項
 - 4 届出・剣道用具・竹刀について
 - 5 試合運営上の注意事項について
 - 6 団体戦決勝トーナメント抽選会について
 - 7 大会参加者へのお願い
 - 8 整列要項
 - 9 表彰要項
- 別紙 テーピング・サポーター申請書、選手変更届

諸会議・競技日程

期日	時間	内容	会場	備考(参加者等)
2月22日 (土) 女子団体戦	10:00	開場・参加校受付	メインアリーナロビー	アップ可能。
		メインアリーナ・多目的室開放	メインアリーナ・多目的室	
	11:30	役員・審判員受付	メインアリーナロビー	
	12:00	審判会議	2階大会議室	
	12:20	選手整列	メインアリーナ	全選手整列
	12:30	開始式	メインアリーナ	別紙、式典要項をご覧ください。
	13:00	試合開始<女子>	メインアリーナ	
	17:30	表彰式<女子>	メインアリーナ	別紙、式典要項をご覧ください。
	18:30	完全退館(予定)		剣道具は、サブアリーナ・武道場のフロアーに置いていくことができます。
2月23日 (日) 男子団体戦	8:00	開場・参加校受付	メインアリーナロビー	アップ可能。
		メインアリーナ・多目的室開放	メインアリーナ・多目的室	
	8:20	役員・審判員受付	メインアリーナロビー	
	8:50	審判会議	2階大会議室	
	9:10	選手整列	メインアリーナ	全選手整列
	9:20	開始式	メインアリーナ	別紙、式典要項をご覧ください。
	9:50	試合開始<男子>	メインアリーナ	
	15:30	表彰式<男子>	メインアリーナ	別紙、式典要項をご覧ください。
	17:00	完全退館(予定)		剣道具は、サブアリーナ・武道場のフロアーに置いていくことができます。
2月24日 (月) 錬成会	8:00	開場・参加校受付	メインアリーナロビー	
	8:10	アップ開始	メインアリーナ・サブアリーナ・武道場	
	8:50	監督会議	メインアリーナ	
	9:00	キャプテン会	メインアリーナ	
	9:10	錬成会開始		
	12:00	錬成会終了		
	14:00	完全退館(予定)		

メインアリーナ会場図



選手・監督控え席

出入口

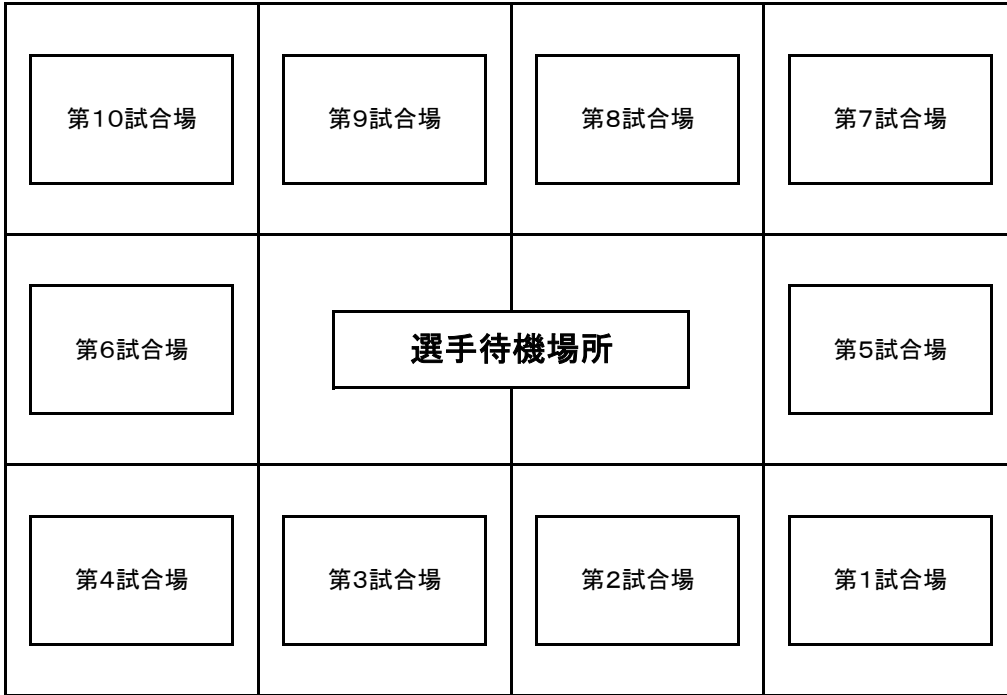
出入口

出入口

出入口

サブアリーナ

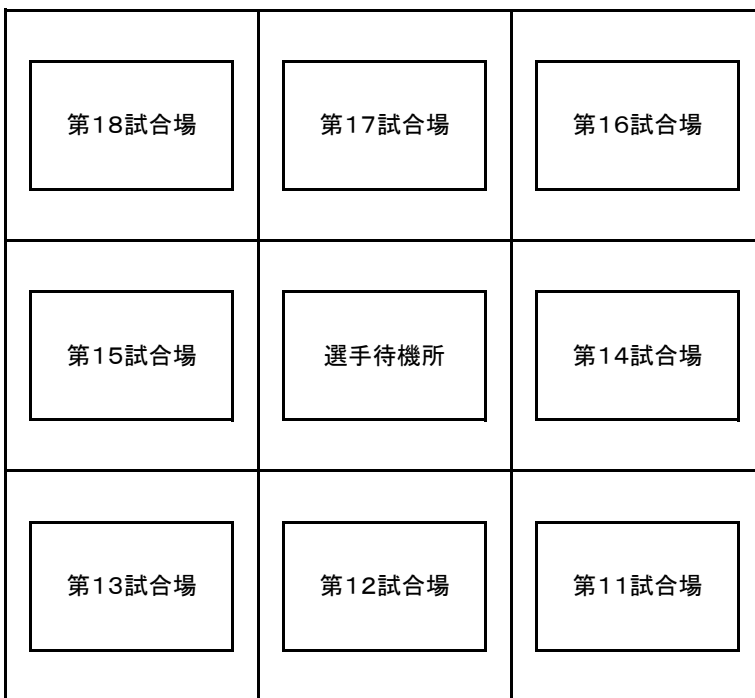
入り口



本部席

入り口

武道場



倉庫

倉庫

「試合運営に関わる連絡事項」

審判部

1 礼法について

- (1) 蹲踞の「始め」と「終わり」を正確・丁寧に行う。
 - ※ 「始め」は竹刀を抜きながら蹲踞し、静止する。
 - ※ 「終わり」は納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
- (2) 団体の礼の前後や選手交替時における余計な所作は改める。
 - ※ 円陣を組んでの発声やパフォーマンス、胴づき、握手など
 - ※ 団体戦の選手入れ替えを速やかに行う。(個人戦も同様)
- (3) 相互の礼は同時に行い、正しい蹲踞の後、主審の「始め」の発声で試合開始とする。
 - ※ 正しい蹲踞ができていない試合者に対しては指導する場合があります。ただし、膝の怪我等で正しい蹲踞ができない場合は、試合開始前に監督が該当試合場の審判主任に口頭で申し出ること。

2 剣道具について

- (1) 面紐の長さは結び目から40センチメートル以下です。
- (2) 面紐の結び目の位置が高過ぎる選手が見られます。面が外れたり、転倒時に後頭部を保護できなかつたりする可能性があります。危険防止として適切な位置で結ぶよう、ご指導ください。

3 団体戦における先鋒戦の開始の宣告について

大会運営をスムーズに行うため、監督が畳に座ったことを確認してから「始め」の宣告を行います。

- ・ 監督は、チーム間の始めの礼の後、速やかに前列畳に移動し、選手を待たずに着座する。
- ・ 選手は、前の試合のチーム間の終わりの礼の後、直ちに2列目の畳から立礼の位置へ移動し、チーム間の始めの礼を行う。面・小手・竹刀の移動は、チーム間の礼が終わった後に行う。

4 団体戦の代表戦について

○ 延長戦は2分ずつ区切って行う。

- ・ 試合時間3分⇒延長2分⇒延長2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】
⇒延長2分⇒延長2分⇒【休憩（面を外して給水）】
※上記を繰り返す。

【小休止】 ⇒ 開始線の位置で10秒程度の深呼吸。

【休憩】 ⇒ 立ったまま納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。試合再開までの時間は5分とする。その際、監督は選手に指示をしない。

5 つば(鏢) 競り合いについて

(1) つば(鏢) 競り合いの定義

「剣道試合・審判・運営要領の手引き」 P9 三「規則の解釈と運用」 2「つば(鏢) 競り合いについて」

つば(鏢) 競り合いは、鏢と鏢とが競り合って互いが最も接近して緊迫した状態である。つば(鏢) 競り合いは攻防や打突行動の中から発生した相対関係である。

(2) 「剣道試合・審判・運営要領の手引き」三 2 P10～11 より

- ・ 終始、拳が相手の刃部にかかっているような場合は、明らかに不当なつば(鏢) 競り合いである。
- ・ 暴力的であったり、意図的なひっかけ(ひっかけることを目的にする)だったり、一般的に見て異常な行為であれば、禁止行為に該当する。
- ・ 膠着や不当なつば(鏢) 競り合いに関する処置は、試合の運営にかかわる主審の専決権限の事項である。したがって、副審は「止め」を宣告することができない。

(3) つば(鏢) 競り合い解消に至る時間は「一呼吸(3秒程度)」。

(4) つば(鏢) 競り合いを解消する場合は双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、正しい鏢競り合いから鏢と鏢で競り合う力を利用して積極的(一気)に解消する。

(5) つば(鏢) 競り合い時の発声については、「指導」や「反則」とはしないが、鏢競り合いは互いが最も接近して緊迫した状態であることから、日頃の稽古や試合においては極力発声しないようご指導ください。

6 つば(鏢) 競り合いの指導と対応について

(1) 「一呼吸(目安としておよそ3秒)」で分かれることができなかった場合の対応について

- ① 剣道試合・審判規則第1条に則り、公明正大に試合ができていないと判断した場合は反則となる。
- ② 一気に下がる部分は指導していくが、気持ちを合わせて下がっていれば反則とはしない。
- ③ ゆっくりと下がり時間空費をしたり、相手と気持ちを合わさずに下らせたりするなどの行為は、第1条に照らして反則とする。
- ④ 「一気に」というのは、必ずしも1歩とは限らない。一呼吸(目安としておよそ3秒)の間で2～3歩かけて間を切ることもあり得る。
 - ※ 正しいつば(鏢) 競り合いと分かれ方について、指導者が選手に指導すること。
 - ※ 再三(2～3回程度)繰り返したり、意図的な行為と判断されたりした場合は、合議の上、目的と現象を見極めて反則を適用する。

- (2) 公明正大に試合ができていないと判断される攻防について
- ① 防御姿勢（打突の回避）で中間に入り、その間合いで姑息な勝負を仕掛けて公明正大に試合が行われていないと判断される場合は反則とする。
 - ② 中間で「技も出さない」「下がらない」という形で時間を空費していると判断される場合は反則とする。
 - ・ 技が出せない状態に陥って、一方の選手が積極的に分かれる努力をしているのに、もう一方の選手がつば（鏢）競り合いになっていないからといって、分かれる努力をしなかったり、不当な行為（竹刀を叩く、押さえる、払う、巻く、下がっている相手に対して追い込むなど）を行ったり、姑息な打突をしようとしたりしていると判断されたとき、反則の適用はあり得る。
- (3) 中間での攻防や打突、解消について
- ① 一旦正しいつば（鏢）競り合いになり、一呼吸（目安としておよそ3秒）以内に技が出ない場合は、試合者は積極的に分かれる。
 - ② 攻防の在り方に関しては、必ずしもつば（鏢）競り合いにならなくても深い間合いに入ってしまう、技が出せない状態になることもあり得る。その場合は、双方が積極的に分かれる努力をする。
 - ③ 中間で止まらず、打ち抜けた後の振り向きざまの機会を打突したり、体当たりしてから技を出したりするなど、技につなげる。

7 公正を害する変形な構えについて

- (1) 左拳を概ね目線より上にして、面・小手・右胴を同時に防御する行為。
- (2) 1回目は合議の上、「指導」、2回目以降は合議の上「反則」とする。

8 不当な中止要請（タイム）規則第17条6

- (1) 不利な状態での中止要請。 「合議」 → 「反則」
- (2) 発声を伴わない中止要請。 「合議」 → 「反則」の場合もある。
- (3) 竹刀が相手の脇の下や喉元に入った場合等は試合者自らが解消する。また、できない場合は主審が試合者を指導する。

9 団体戦において、どちらかまたは、両チーム試合者が4名の場合、中堅まで面・小手を着用し、竹刀を持って最初の礼を行う。

10 インフルエンザ・コロナウイルス感染防止対策として、面マスクまたはシールドを着用する。

※ 監督会議を行いませんので、書面にて連絡します。選手への伝達をお願いします。

令和6年度 第55回全国中学校剣道大会（宮崎全中）プレ大会 監督会議資料
届出・剣道用具・剣道着・竹刀について

競技部

- 「選手変更届」 「テーピング・足袋・サポーター（コルセット）等の使用許可願い」について
- ① 「選手変更届」 ※ 監督会議資料に入れてあります。
- ・ 監督は、所定の用紙に必要事項を記入し、リーグ戦の場合は3試合前、トーナメントの場合は1試合前までに各試合場の試合場責任者に提出してください。
- ② 「テーピング・足袋・サポーター・（コルセット）の使用許可願い」
- ※ 監督会議資料に入れてあります。
- ・ 監督は、所定の用紙に必要事項を記入し、リーグ戦の場合は3試合前、トーナメントの場合は1試合前までに各試合場の審判主任に提出してください。
 - ・ 提出の際は、必ず選手を連れて、テーピングを巻いた状態、足袋・サポーターをつけた状態を、審判主任に見せて許可を得てください。※指先単独でのテーピングについては、届け出は不要です。
 - ・ 新たに申請したい場合は再度提出してください。
- ※ 上記 ①、② の届出用紙は、各試合会場にも置いてあります。

○ 面について

面ぶとんは、肩関節を保護する長さがあり十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

○ 小手について

小手は、前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。また、小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内とする。

○ 剣道着について

剣道着の袖は、肘関節を保護する長さを確保したものとする（構えたときに肘関節が隠れること）。

○ 竹刀について

※今大会では竹刀検量は行いませんが、竹刀の破損によるけが等の防止のため、各団体で責任をもって確認をお願いいたします。

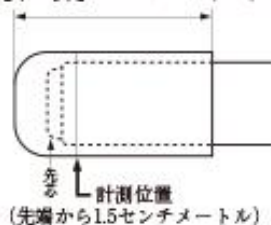
① 長さ・太さ・重さについては、次の基準による。

		性 別	中 学 生
長さ	男 女 共 通		114 センチメートル以下
重 さ	男 性		440 グラム以上
	女 性		400 グラム以上
太 さ	男 性	最 先 端 最 小 直 径	25 ミリメートル以上
		ち く と う 最 小 直 径	20 ミリメートル以上
	女 性	最 先 端 最 小 直 径	24 ミリメートル以上
		ち く と う 最 小 直 径	19 ミリメートル以上

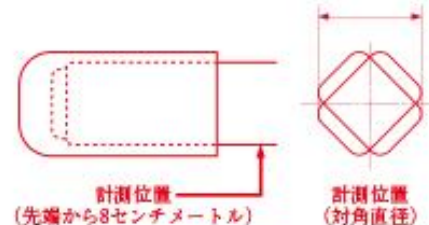
② 先革の長さは、50 ミリメートル以上とする。

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>

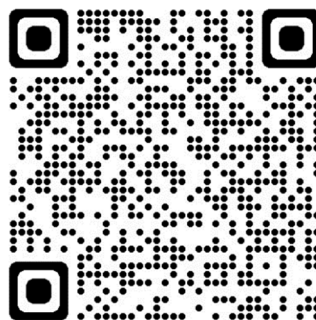


③ 中結の位置は、全長の1/4とする。



○ その他

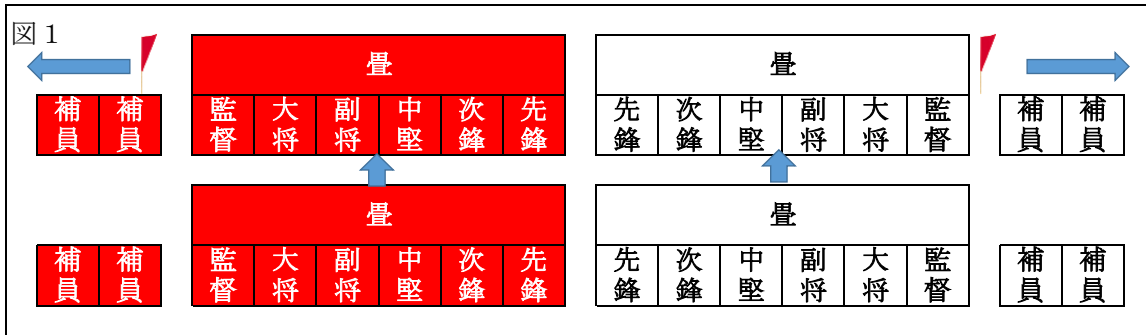
① 詳細については、全剣連HP (QRコード) をご参照ください。



(公財) 全日本剣道連盟HP内関連記事

試合運営上（団体戦）の注意事項について

1 団体戦における畳の座り方および移動の仕方は図1のように行います。

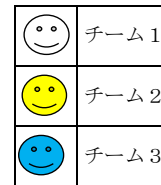
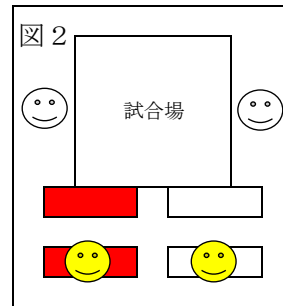


2 チームの畳の入れ替わり方法は以下の手順で行います。

① 試合終了後、試合を行ったチーム1は、試合場に整列し、双方のあいさつをする。

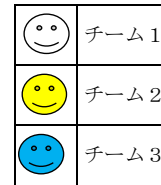
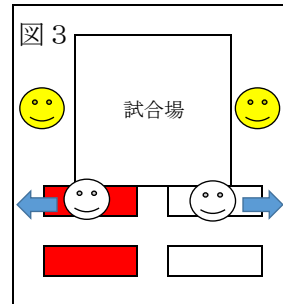
② 次に試合を行うチーム2は、剣道具及び選手・監督の移動等はせず、先に、試合場にて双方のあいさつをする。

※図2参照



③ 双方のあいさつを終えたチーム1は、次のチーム2が試合場で双方のあいさつを行っている間に、畳から剣道具をまとめ、矢印の方向に退場する。

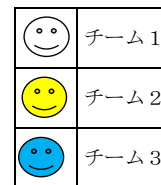
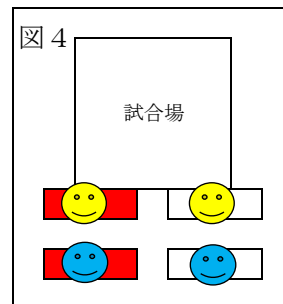
※図3参照



④ 双方のあいさつを終えたチーム2の監督は速やかに着座をする。チーム2の選手は畳に戻り、剣道具の移動を行い、速やかに着座をする。（正座は先鋒戦と大将戦のみ）

⑤ チーム3は、チーム2が前列の畳に剣道具を移動したことを確認して後列の畳に防具を置く。

※図4参照



団体戦決勝トーナメント抽選会について

1. 抽選日時
 - 2月22日（土）女子団体戦予選リーグ終了後 15：20～
 - 2月23日（日）男子団体戦予選リーグ終了後 12：20～

2. 抽選場所
 - 早水体育文化センター メインアリーナ

3. 抽選方法
 - ① 予選リーグが終了した団体から予備抽選を行い、本抽選の順番を決定する。
 （箱の中に『1～16』の番号を記入したピンポン玉を用意）
 - ② 本抽選は予備抽選の順番通りに行い、決勝トーナメントの組み合わせを決定する。
 （箱の中に『あ～た』を記入したピンポン玉を用意）
 - ③ 同県2チーム以上が決勝トーナメントに進出した場合、最初に本抽選を行い、2チームの場合は決勝戦まで、3チーム以上の場合は準決勝戦まで対戦しないように配慮する。（予備抽選は行わない）
 - ・ チーム数の多い県の順に、予選リーグ ABC→P の順で本抽選を行う。
 - ・ 最初のチームが本抽選を行う際は、箱の中には『あ～た』のピンポン玉を用意する。
 - ・ 2番目に本抽選を行う際は、最初のチームの抽選結果を考慮して、ピンポン玉を箱の中に入れておく。
 例：最初のチームが『う』を抽選した場合、2番目に本抽選を行う際、箱の中には、トーナメントの反対側の『け～た』を入れておく。
 - ・ 予選リーグ実施途中で同県2チーム以上の決勝トーナメント進出が決定した場合、その後の予備抽選は実施しない。それまでに実施した予備抽選の結果は無効とする。

4. 日程及び進行
 - 2月22日（土）
 - ① 開始式終了後、最終打合せ及び物品用具確認
 - ② 女子予選リーグ終了時、抽選会会場へ集合
 （事務局、競技部長、記録報道部長）

※抽選用備品を宮崎全中プレ大会実行委員会会長に確認していただく。
 - 2月23日（日）
 - ① 開始式終了後、最終打合せ及び物品用具確認
 - ② 男子予選リーグ終了時、抽選会会場へ集合
 （事務局、競技部長、記録報道部長）

※抽選用備品を宮崎全中プレ大会実行委員会会長に確認していただく。

22日（土）	内 容	23日（日）	内 容
15：20	抽選会会場集合を連絡	12：20	抽選会会場集合を連絡
15：25	参加する監督集合完了	12：25	参加する監督集合完了
15：28	本部役員確認	12：28	本部役員確認
15：30	女子抽選会スタート	12：30	男子抽選会スタート
15：45	抽選終了・スクリーン表示	12：45	抽選終了・スクリーン表示

大会参加者へのお願い

競技部

1 第55回全国中学校剣道大会（宮崎全中）プレ大会参加に関わるお願い**必読・徹底**追加事項

早水公園体育文化センターメインアリーナの観客席について

○ 観客席には優先応援座席を設けています。試合を行っているチーム、選手の関係者は座って応援していただいてもかまいません。応援している試合が終了したら、速やかに退席をして次の方に席をお譲りください。応援は拍手のみです。2階から声を出しての応援はご遠慮ください。

2 選手・監督について

(1) 竹刀、剣道具について

アップ終了後、各試合場1、2、3試合目以外のチーム、選手は、アップ会場に持って行ってください。

1、2、3試合目のチームはメインアリーナ後方の竹刀、剣道具置き場に置いてください。

(2) 待機について

待機場所はメインアリーナ後方、または、アップ会場といたします。

(3) 応援について

すべての試合が終了した選手は竹刀、剣道具をメインアリーナ2階観客席またはアップ会場へ速やかに持って行ってください。その後の観戦、応援はメインアリーナ2階観客席とします。

(4) 敗退後について

試合敗退後、武道場にて申し合わせでの練習試合をすることができます。

(5) 退館時の剣道具等について

大会・錬成会終了後、竹刀、剣道具をサブアリーナ・武道場・アップ会場のフロアーに置いて帰ることができます。その際、シートや防具袋の上に置くようにし、床に直に置かないようにしてください。また、メインアリーナ全域・サブアリーナ・武道場2階・廊下等には一切荷物を置いて帰ることはできません。

3 応援者について

(1) 観戦について

応援者はメインアリーナ・サブアリーナ・武道場2階観客席での観戦となります。1階フロアー等には降りれません。メインアリーナの座席につきましては、割振らせていただいておりますが、サブアリーナ・武道場は割振りをしておりません。譲り合ってお座りください。

(2) 入場について

22日（土）と23日（日）に関しましては、大会出場選手・監督・保護者出入口と錬成会出場選手・監督保護者出入口は分けてありますので、会場図にてご確認ください。また、大会出場者の保護者の方々はメインアリーナ横の出入口からも入場することができます。

※施設内（駐車場も含む）は禁煙です。喫煙は必ず施設外で行ってください。

開始式 監督・選手・審判員 整列要項

- ・開始式を2日間それぞれ行います。
- ・選手・監督は、IDカードを着用の上、以下の要領に従って開始式にご参加ください。

2/22 女子団体戦

- ・下図に示した順番で、ステージに向かって各チーム縦1列に並ぶ。(12時20分)
- ・選手1名がプラカードを持って先頭に立ち、後ろに監督、その後ろに残りの選手が並ぶ。
- ・アナウンスの合図で整列を行う。

【団体戦出場選手並び方】

- 選手(プラカードを持つ)
- ◎監督
- 選手
- 選手
- 選手
- 選手
- 選手

メインアリーナ (ステージ側)

審判員整列場所 ※ ステージ右から (第6試合場の先生～第1試合場の先生の順)

第4試合場	第1試合場
②④ 安佐中 (広島県) ②③ 玉島東中 (岡山県) ②② 貴志中 (和歌山県) ②① 二名中 (奈良県) ②① 高砂中 (兵庫県) ①⑨ 甲子園学院 (兵庫県) ①⑧ 豊中ク (大阪府) ①⑦ 四天王寺東中 (大阪府) ①⑥ 久御山中 (京都府) ①⑤ 北城陽中 (京都府) ①④ 神戸中 (三重県) ①③ 春日井中部 (愛知県) ①② 不破中 (岐阜県)	① 藤坂北翠館 (青森県) ② 泉中学校 (福島県) ③ 壬生中 (栃木県) ④ 南橘中 (群馬県) ⑤ 東海大浦安中 (千葉県) ⑥ 淑徳巣鴨中 (東京都) ⑦ 潮田中 (神奈川県) ⑧ 夢想塾 (長野県) ⑨ 呉羽中 (富山県) ⑩ 森田中 (福井県) ⑪ 磐田東中 (静岡県)

第5試合場	第2試合場
④⑧ 宮崎中 (宮崎県) ④⑦ 吾田中 (宮崎県) ④⑥ 三松中 (宮崎県) ④⑤ 三股中 (宮崎県) ④④ 上山中 (沖縄県) ④③ 帖佐中 (鹿児島県) ④② 和田中 (鹿児島県) ④① 鶴崎中 (大分県) ④① 南大分中 (大分県) ③⑨ 早岐中 (長崎県) ③⑧ 川棚中 (長崎県) ③⑦ 高森中 (熊本県) ③⑥ 南阿蘇中 (熊本県)	③⑤ 尚綱中 (熊本県) ③④ 思斉中 (佐賀県) ③③ 大和中 (佐賀県) ③② 龍谷中 (佐賀県) ③① 春日野中 (福岡県) ③① 玄洋中 (福岡県) ②⑨ 須恵中 (福岡県) ②⑧ 飯塚日新館 (福岡県) ②⑦ 老司中 (福岡県) ②⑥ 柳井中 (山口県) ②⑤ 高川学園中 (山口県)

2 / 23 男子団体戦

- ・ 下図に示した順番で、ステージに向かって各チーム縦1列に並ぶ。(12時20分)
- ・ 選手1名がプラカードを持って先頭に立ち、後ろに監督、その後ろに残りの選手が並ぶ。
- ・ アナウンスの合図で整列を行う。

【団体戦出場選手並び方】

- 選手 (プラカードを持つ)
- ◎ 監督
- 選手
- 選手
- 選手
- 選手
- 選手

メインアリーナ (ステージ側)

**審判員整列場所 ※ ステージ右から
(第6試合場の先生～第1試合場の先生の順)**

第4試合場	第1試合場
②④ 安佐中 (広島県) ②③ 玉島東中 (岡山県) ②② 西和中 (和歌山県) ②① 奈良育英 (奈良県) ②① 大蔵中 (兵庫県) ①⑨ 豊中ク (大阪府) ①⑧ 四天王寺東中 (大阪府) ①⑦ 久御山中 (京都府) ①⑥ 守山中 (滋賀県) ①⑤ 神戸中 (三重県) ①④ 松原中 (愛知県) ①③ 小泉中 (岐阜県) ①② 松陵中 (福井県) ①① 奥田中 (富山県)	① 郡山ザベリオ (福島県) ② 勝田一中 (茨城県) ③ 壬生中 (栃木県) ④ 吉岡中 (群馬県) ⑤ 東海大浦安中 (千葉県) ⑥ 郁文館中 (東京都) ⑦ 関中 (東京都) ⑧ 潮田中 (神奈川県) ⑨ 長野日大 (長野県) ⑩ 村上第一 (新潟県) ⑪ 奥田中 (富山県)

第5試合場	第2試合場
④⑧ 三股中 (宮崎県) ④⑦ 五ヶ瀬中 (宮崎県) ④⑥ 高原中 (宮崎県) ④⑤ 宮崎西中 (宮崎県) ④④ 東海中 (宮崎県) ④③ 上山中 (沖縄県) ④② 伊集院中 (鹿児島県) ④① 末吉中 (鹿児島県) ④① 鶴崎中 (大分県) ③⑨ 杵築中 (大分県) ③⑧ 明豊中学校 (大分県) ③⑦ 東彼杵中 (長崎県) ③⑥ 愛野中 (長崎県) ③⑤ 高森中 (熊本県) ③④ 九州学院中 (熊本県) ③③ 北茂安中 (佐賀県) ③② 大和中 (佐賀県)	②⑤ 高川学園中 (山口県) ②⑥ 柳井中 (山口県) ②⑦ 香東中 (香川県) ②⑧ 小野中 (愛媛県) ②⑨ 玄洋中 (福岡県) ③① 飯塚日新館 (福岡県) ③② 城山中学校 (福岡県) ③③ 大和中 (佐賀県)

